

AI クラウドサービス DC Smart

ユーザーマニュアル

V1.0.1



ダンボネット・システムズ株式会社

變更履歷

V1.0.0	新規作成
V1.0.1	輕微變更

目次

1	事前準備	3
1.1	管理サーバー	3
1.2	顔写真	3
1.3	設置拠点と勤怠管理対象	4
1.4	顔認証端末	4
1.5	初期設定(DC506)	4
1.5.1	起動	4
1.5.2	ネットワーク接続	5
1.5.3	サーバー接続	7
1.6	初期設定(DC77)	8
1.7	初期設定(DC SMART)	9
2	共通機能	10
1.1.	ログイン・ログアウト	10
1.2.	パスワード変更	10
1.3.	ホーム	11
3	顔認識機能	11
3.1	組織管理	11
3.1.1	組織追加	12
3.1.2	組織削除	12
3.2	ユーザー	13
3.2.1	ユーザー登録(1人)	13
3.2.2	ユーザー登録(一括)	14
3.2.3	ユーザー編集	15
3.2.4	ユーザー削除	16
3.3	エリア	16
3.3.1	エリア種類	16
3.3.2	エリア追加と編集	16
3.3.3	ユーザーアサイン	17
3.3.4	エリア削除	18
3.4	デバイス	18
3.4.1	デバイス追加	18
3.4.2	デバイス編集(DC506)	19
3.4.3	デバイス編集(DC77)	20
3.4.4	デバイス削除	21
3.5	通行記録	21
3.6	検温管理	22
3.6.1	統計情報	22
3.6.2	測定記録	23
4	勤怠管理	24
4.1	シフト	24
4.2	グループ	24
4.3	勤怠統計	25
4.4	勤怠明細	26
4.5	休日管理	27

5	アップデート(DC506).....	28
5.1	APK の準備.....	28
5.2	アップデート.....	29

1 事前準備

1.1 管理サーバー

DC Smart は、ローカルサーバーもしくは、クラウドサーバー上に構築できます。クラウドサーバーの場合には、弊社クラウドサービス、他社(Azure、GCP、AWS など)クラウドサービスを利用可能です。

●弊社クラウド構築 ※フリービットクラウド

クラウド環境の用意と DC Smart 構築を弊社が対応します。

●他社クラウド構築 ※Azure 推奨

御社側でクラウドサーバー(CentOS7.9 x64)をご用意していただき、弊社側で当該クラウドサーバー上にDS Smart を構築します。

●ローカルサーバー ※DS256 使用

弊社製品 DC256 上に DC Smart を構築し、御社ネットワーク上に設置して使用します。

1.2 顔写真

一括でユーザー顔写真を登録するには下記の要件に合わせて写真を用意します。

●ファイル名

下記のいずれかの形式ですべてのユーザー顔写真を命名します。

- 名前_社員番号.jpg
- 名前_社員番号_ICカード番号.jpg

●顔写真要件

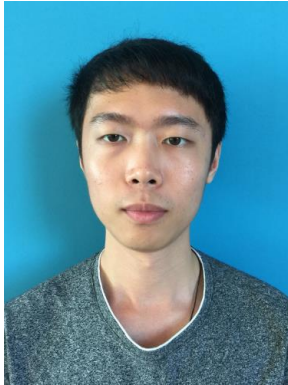
- 顔写真全体のうち、顔が占めるエリアのサイズが 300 x 300 ドット以上であること
- 顔が写真の中央にあり、正面かつ精細に映っていること。帽子やサングラスを被らないこと
- 顔写真形式:jpg
- 写真ファイルサイズ:推奨値 2MB 程度。12MB を超えないこと

●撮影注意事項

運転免許証の写真イメージが適当で、以下の点に注意してください。

- 顔が綺麗になる携帯カメラ機能やアプリを OFF にすること
- 帽子やサングラスを被らないこと。眉毛が見えること
- 室内で撮影し、白飛びしない適度な光が正面から当たるようにし逆光を避けること
- 目はカメラを見ていること。無表情で撮影すること
- 半年以内の顔写真を使用すること

●撮影サンプル



1.3 設置拠点と勤怠管理対象

全国に設置拠点(エリア)及びこの拠点に勤怠管理対象ユーザーを決めます。拠点(エリア)に通行許可、あるいは勤怠管理対象のユーザーをアサインします。

1.4 顔認証端末

DC Smart は、DC77シリーズと DC506 が使用可能です。



DC77



DC506

1.5 初期設定(DC506)

1.5.1 起動

DC506 に AC アダプタを接続すると自動的に立ち上がります(本機に電源スイッチはありません)。起動後、ディスプレイ上部の「初期化中」という表示が「DC506」となったら、測定

準備完了となります。測定準備完了まで、約1分かかります。DC506 の前に立つと自動的に顔認証と検温を行います。測定結果は画面表示の他、音声により通知されます。



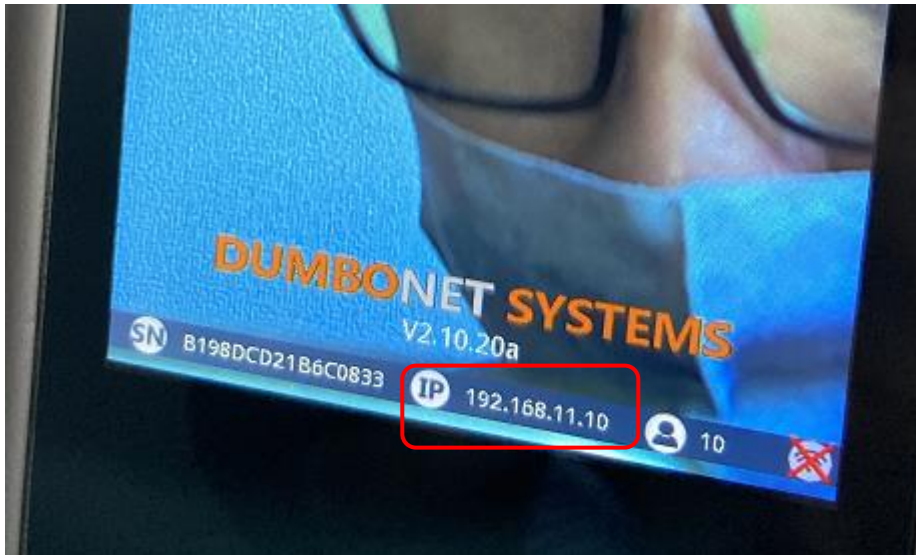
1.5.2 ネットワーク接続

DC506 をネットワークに接続するには、LAN ケーブルによる有線 LAN 接続と、Wi-Fi による無線 LAN 接続の2通りから選択できます。

LAN ケーブルを利用してネットワークに接続する場合は、LAN ケーブルを本機付属の LAN ケーブル接続用ソケットに差し込んで行います。接続後は、自動的に DHCP サーバーから IP アドレスを取得します。下記のように画面に IP アドレスを表示されれば、ネットワーク接続完了です。

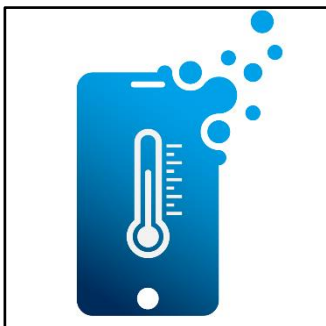
※ スマホモードで DCC と接続できない場合は IP マークに **×** が付きます。

※ IP が 192.168.3.177 と表示される場合はネットワークに接続されていないことになります。



Wi-Fi を利用してネットワークに接続する場合は、初期設定時のホーム画面、あるいはスマホアプリ DCC 設定画面にて Wi-Fi 設定メニューから接続したい Wi-Fi の SSID とパスワードを入力し、「確定」ボタンを押下します。画面に生成された QR コードを本機のカメラにスキャンさせることで、Wi-Fi 設定が行われます。「Wi-Fi 接続中」という表示がされ、その後「Wi-Fi 接続しました」という音声 flowed たら、ネットワーク接続完了です。

Wi-Fi に繋いでいる場合は本機画面に IP アドレスと Wi-Fi マークが両方表示されます。Wi-Fi 接続していない場合は、Wi-Fi マークに **×** が付きます。

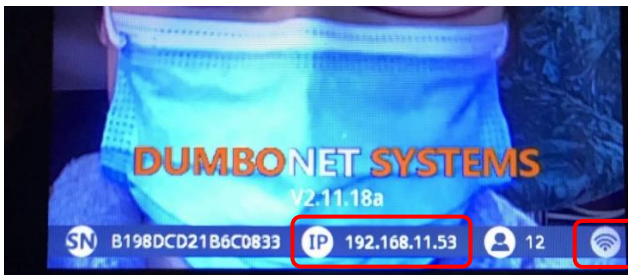
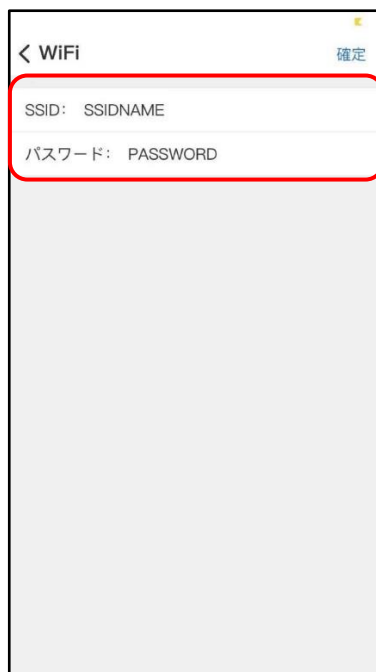


●iOS

Apple Store で「DCC」を検索してインストールします。

●アンドロイド

Google Play で「DCC」を検索してインストールします。



1.5.3 サーバー接続

DCTool を立ち上げて「デバイス IP」欄に対象 DC506 の IP を入力して接続します。そして、「接続 → 接続先 → DC Smart」に設定して「保存」ボタンをクリックして DC506 を DC Smart モード(出荷時はスマホ DCC モード)に切り替えます。



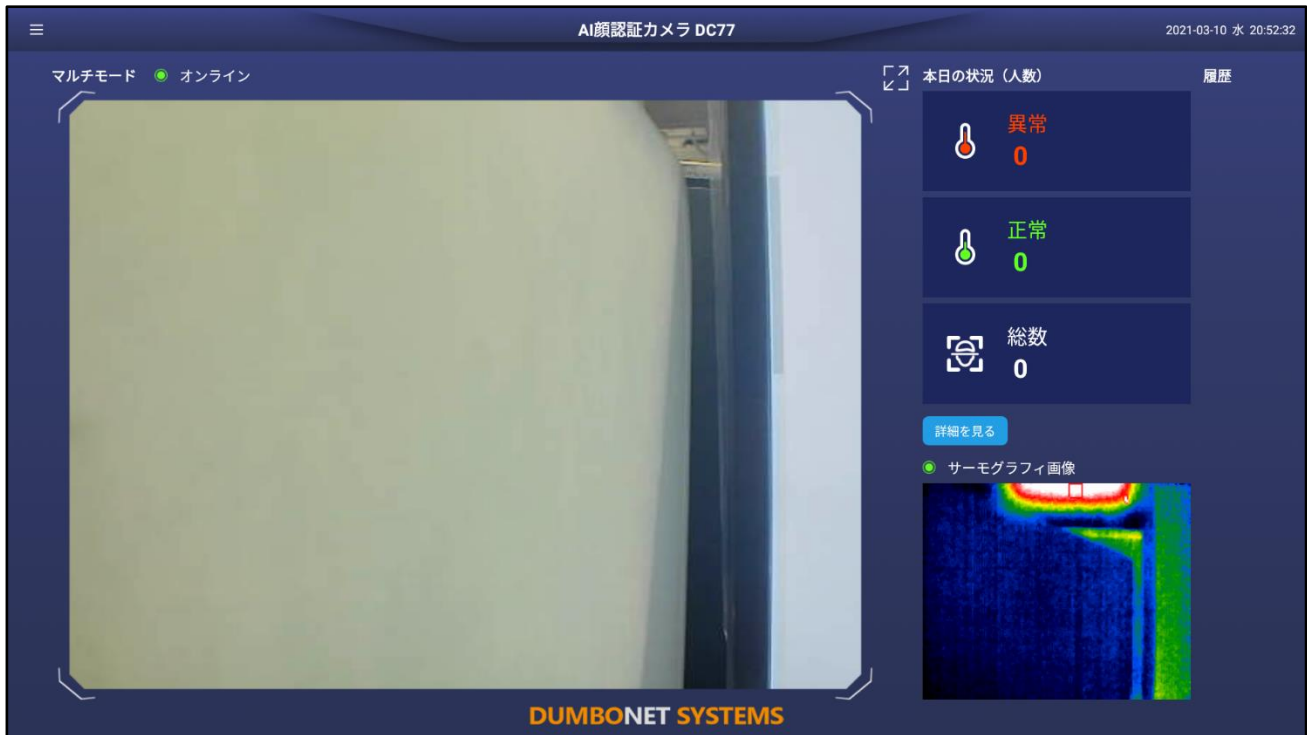
さらに、「一般 → サーバー設定 → IP アドレス」に DC Smart サーバーのアドレス(あるいは、ドメイン)を入力し、「デバイスに保存」、「デバイス再起動」の順にボタンをクリックします。デバイスが立ち上がってきたら、設定完了となります。



1.6 初期設定(DC77)

DC77 の設定メニューから、動作モード設定画面に移動し、オンラインモードを選択します。「サーバー」に DC Smart サーバーのアドレス(あるいは、ドメイン)を入力して保存します。





オンラインモードに切り替えると、オフラインモード時に DC77 にインポートしたユーザー顔写真や測定履歴等のデータはすべて削除されますので、ご注意ください。

※DC77 詳細手順については弊社「AI 顔認証カメラ DC シリーズユーザーマニュアル」を参照してください。

1.7 初期設定(DC Smart)

勤怠管理は、下記のように設定することで使用することができます。各手順の詳細については、後述する内容を参考してください。

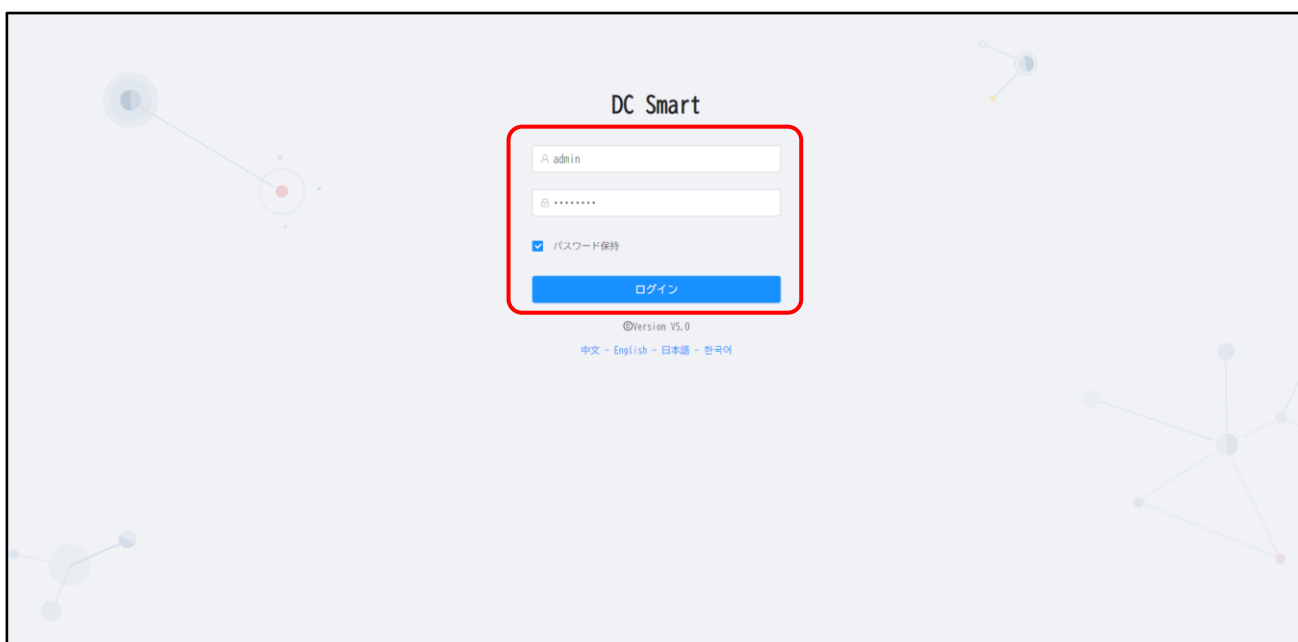
- ① 会社組織を作成します
- ② 各組織にユーザーを登録します
- ③ 制限エリアを新規作成します ※通常は勤怠エリアとして設定します
- ④ 制限エリアに対象ユーザーをアサインします
- ⑤ デバイスにエリアを割り当てます ※DC デバイス配置エリアを決定します
- ⑥ 勤怠シフトを編集します ※出社、退社、残業など定義します
- ⑦ 勤怠グループを新規作成します ※昼勤、夜勤等を決定します
- ⑧ ユーザーを勤怠グループに追加します
- ⑨ DC デバイス前で顔認証します
- ⑩ 通行履歴と測定履歴にデータが登録されます

2 共通機能

1.1.ログイン ・ ログアウト

PC のブラウザから、IP アドレスもしくは URL を入力してシステムにアクセスします。ログイン ID は「admin」、初期パスワードは「123456」となります。

- ブラウザ: Chrome 推奨
- IP アドレスもしくは URL: 別途お問い合わせください
- ポート: http(80)/https(443)



右上の「ログアウト」ボタンをクリックするとログアウトできます。



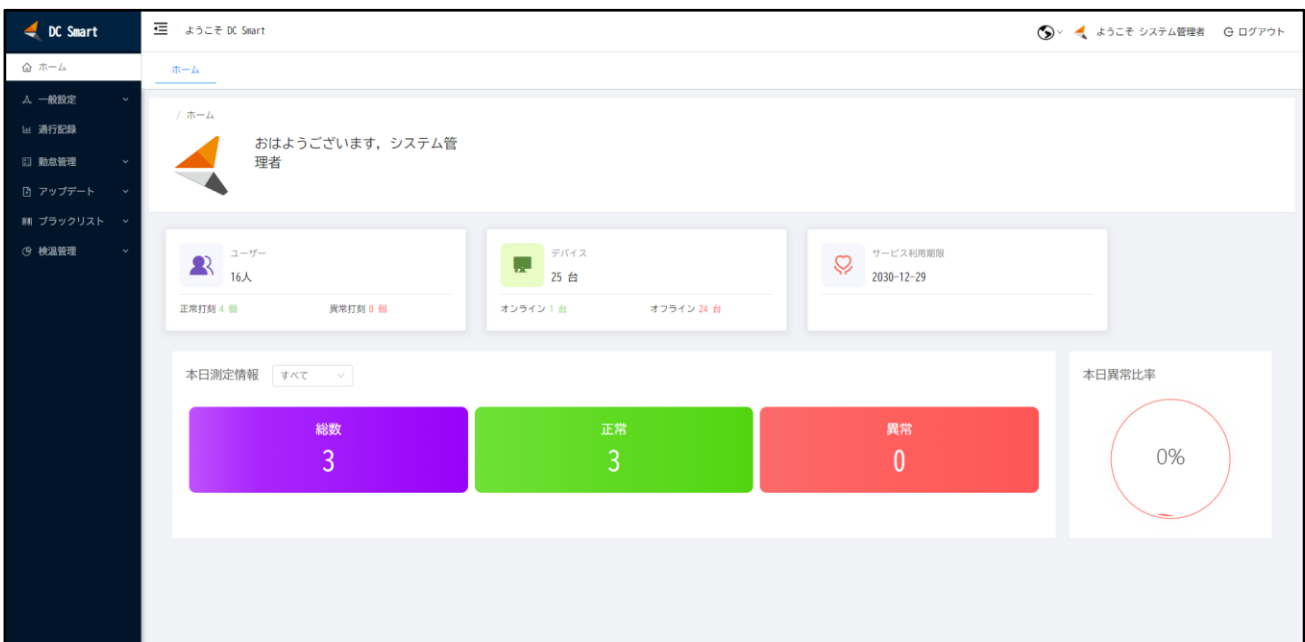
1.2. パスワード変更

右上の「システム管理者 → パスワード変更」ボタンをクリックすると、ログインパスワードを変更できます。



1.3. ホーム

ログインするとホーム画面となります。システムに登録されているユーザー数、デバイス数と検温履歴の統計数字を確認できます。



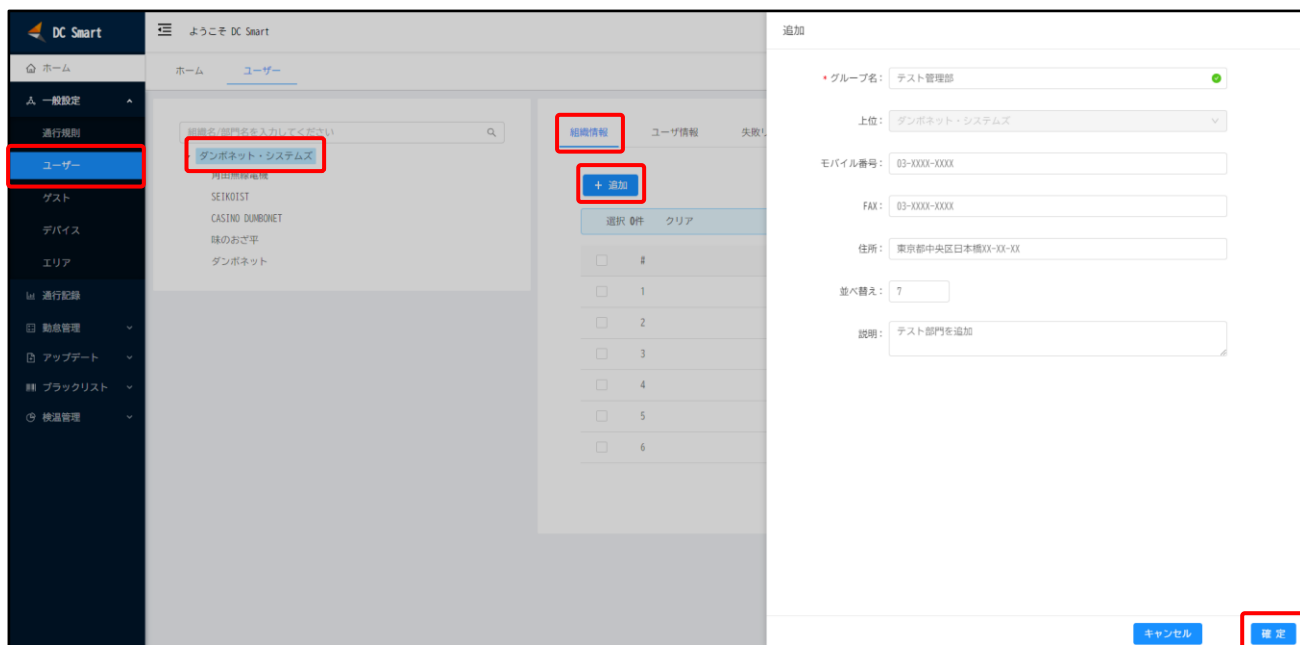
3 顔認識機能

3.1 組織管理

組織管理機能では、組織や部門の追加と削除などを行うことができます。

3.1.1 組織追加

ユーザー画面において、「組織情報」をクリックします。そして、左に表示されている組織リストから親組織(親部門)を選択し、「追加」ボタンをクリックします。必要な情報を入力したら、「確定」ボタンをクリックしてデータを保存します。組織情報画面に戻り、追加された組織は表示されることを確認します。



3.1.2 組織削除

登録した組織(部門)を削除するには、組織名の右側にあるボタン「もっと→削除」を順番にクリックします。該当組織にユーザーをセットされた場合は組織の配下にあるすべてのユーザーも同時に削除されますので、ご注意ください。



3.2 ユーザー

ユーザーの登録、編集、削除を行うことができます。

3.2.1 ユーザー登録(1人)

ユーザー画面において、「ユーザー」ボタンをクリックして登録したい部門を選択します。そして、「追加」ボタンをクリックし、氏名、番号と顔写真などを入力して「確定」ボタンをクリックします。成功に登録した場合はユーザー画面に戻って新規登録したユーザーを確認できます。





3.2.2 ユーザー登録(一括)

事前に用意した複数枚のユーザー顔写真ファイル(ファイル名については“1.3 顔写真”を参照)をフォルダに入れて zip に圧縮します。ユーザー画面において、インポートしたい部門を選択し、「インポート」ボタン押下でユーザー顔写真の zip ファイルを選択してアップロードします。ユーザー顔写真を確認し、「確定」ボタンで保存します。





3.2.3 ユーザー編集

ユーザー画面から編集したいユーザーを選択し、「編集」ボタンをクリックします。名前、所属、番号、顔写真など変更できます。「確定」ボタンをクリックし、変更内容を保存します。



3.2.4 ユーザー削除

ユーザー画面において削除したいユーザーに対して「もっと → 削除」ボタンをクリックして該当ユーザーを削除します。複数ユーザーを選択し、「一括処理 → 削除」ボタンをクリックすると一括削除できます。



3.3 エリア

自動ドアを設置する場所、ユーザーを検温する場所、また、社員の勤怠を管理する場所はエリアとして定義します。エリアには、登録した DC デバイスをアサインします。

3.3.1 エリア種類

●公共エリア

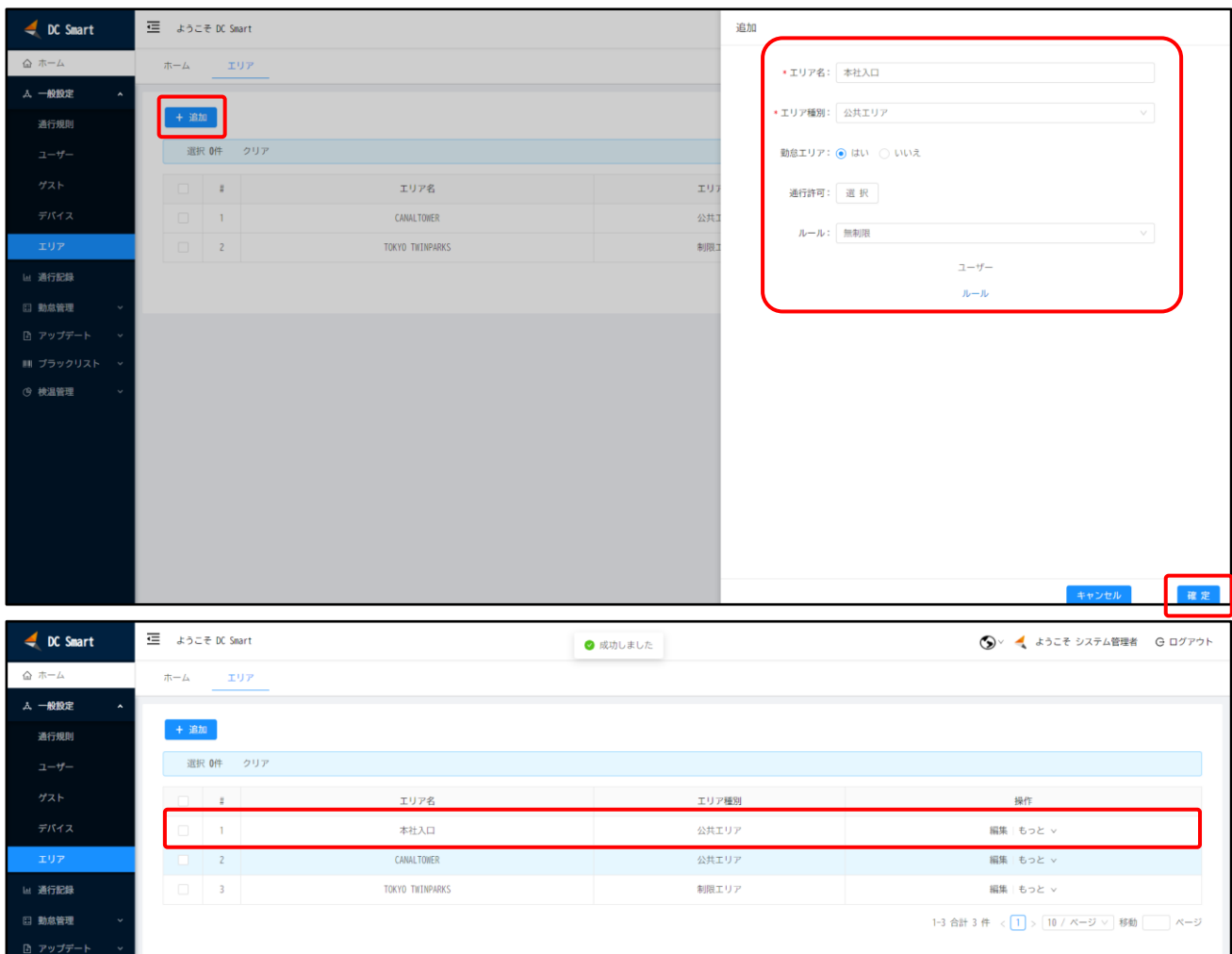
デフォルト登録したユーザーは、制限なく顔認証機能で勤怠管理と自動ドア制御を許可します。

●制限エリア

選択した部門やユーザーだけに、顔認証機能で勤怠管理と自動ドア制御を許可します。

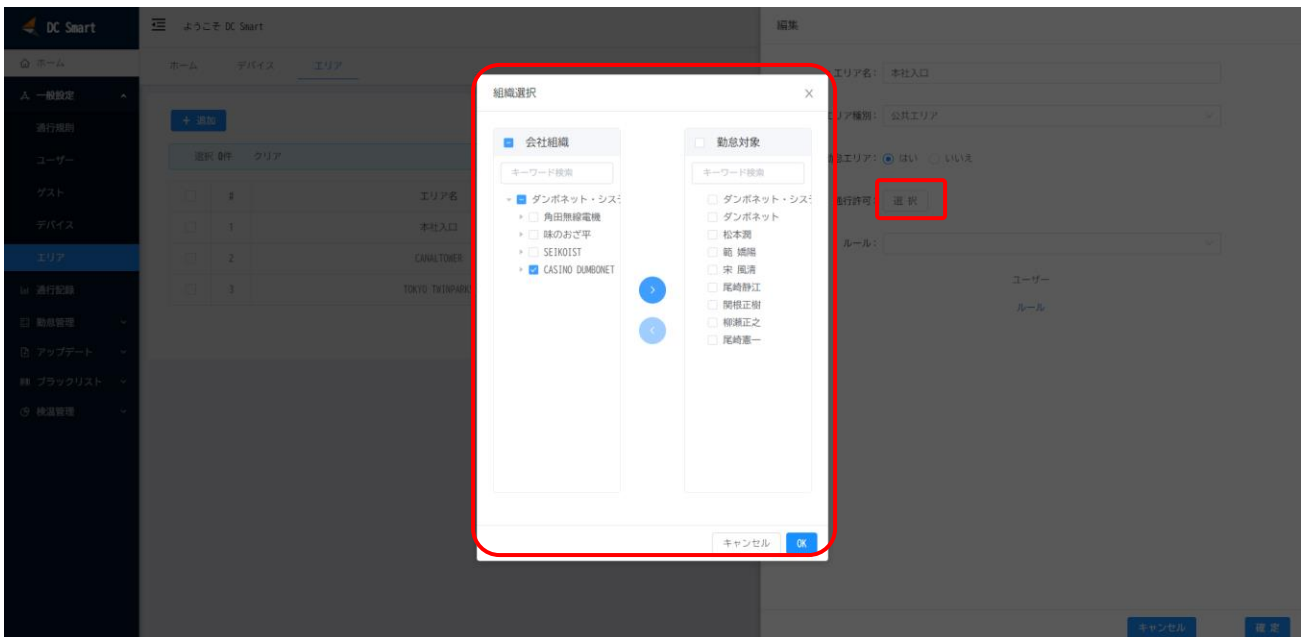
3.3.2 エリア追加と編集

エリア画面において、「追加」ボタンをクリックして新規エリアを追加できます。また、編集したいユーザーを選択し、「編集」ボタンをクリックするとエリア情報を更新できます。



3.3.3 ユーザーアサイン

制限エリアにユーザーをアサインすると、顔認証、検温と勤怠管理を行えるようになります。対象エリアに対して「編集」ボタンをクリックし、通行許可項目にある「選択」をクリックします。ポップアップから管理したい組織あるいは個別のユーザーを勤怠対象に移動します。最後に「OK」ボタンをクリックして反映します。



3.3.4 エリア削除

エリア画面において削除したいエリアに対して「もっと → 削除」ボタンをクリックして該当エリアを削除します。

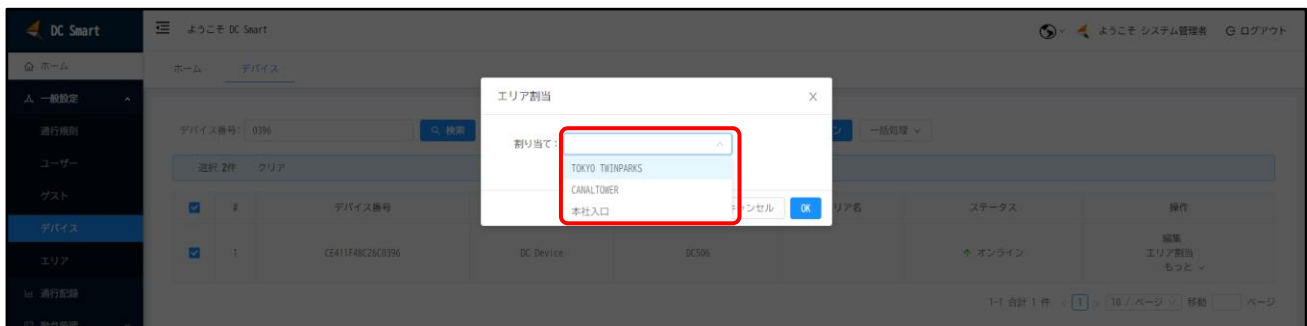


3.4 デバイス

全ての DC カメラをまとめて管理し、追加、編集、エリア割当なども行えます。

3.4.1 デバイス追加

DC Smart に DC デバイスを接続設定すると、デバイス画面においてデバイスが表示されるようになります。右側の「エリア割当」ボタンをクリックして、デバイスをエリアにアサインすると、当該エリアに通行を許可したユーザー情報がデバイスに同期されます。また、デバイスのエリア割当解除を行うと、デバイスからユーザー情報が削除されます。



3.4.2 デバイス編集(DC506)

編集したい DC506 デバイスを選択し、「編集」ボタンをクリックして設定値を更新します。主な項目は下記となります。

- 再起動時刻: 自動再起動時間
- 警告温度: 高熱警告閾値
- 「正常」閾値: 温度表示閾値
- 顔認証閾値: マスクなし顔認証閾値
- マスク識別閾値: マスクあり顔認証閾値
- 連続認証間隔: 同じ人で認識しない間隔時間
- 接点出力維持: 自動ドアやパトライトに信号を維持する時間
- なりすまし検知: なりすまし機能 ON/OFF
- 接点出力条件: 自動ドア開錠条件を設定(通常: 温度+顔 or IC カード)

3.4.3 デバイス編集(DC77)

編集したいDC77デバイスを選択し、「編集」ボタンをクリックして設定を編集します。

3.4.4 デバイス削除

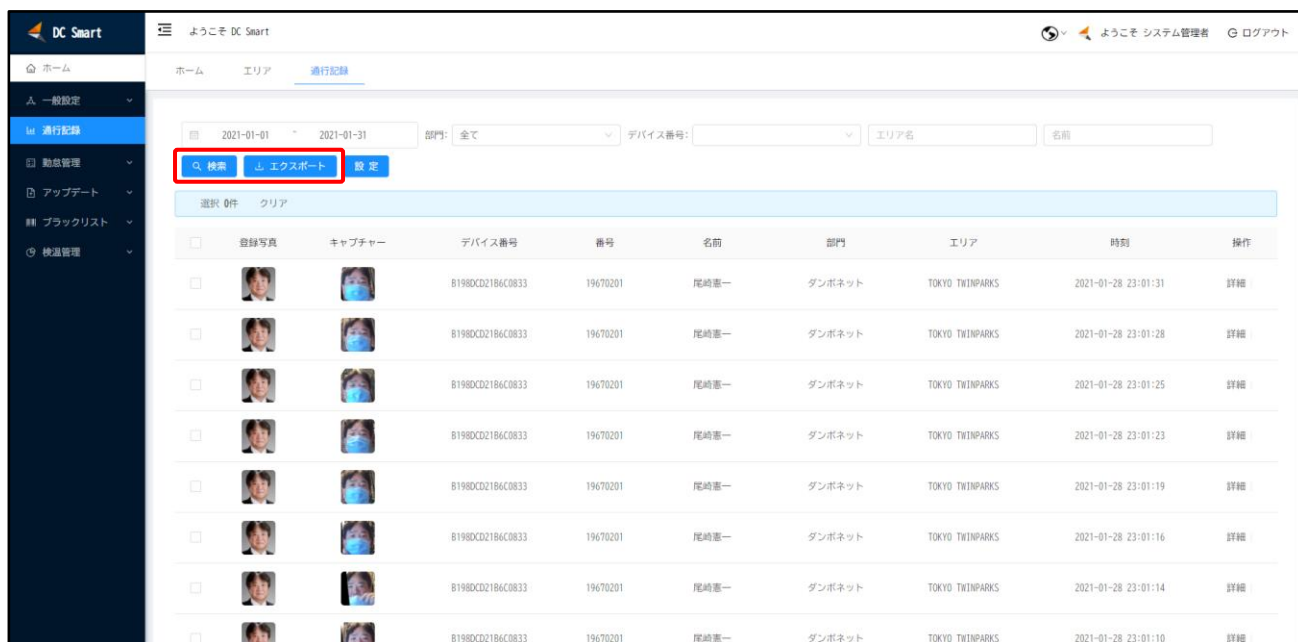
デバイス画面において削除したいデバイスに対して「もっと → 削除」ボタンをクリックするとデバイスを削除します。



3.5 通行記録

DC506 で顔認証し通行すると、認証結果は通行記録に保存されます。通行日時、部門、デバイス番号などの条件で検索結果を絞り込むことができます。また、「エクスポート」ボタンをクリックすることで、Excel 形式にて検索結果をエクスポートできます。

※通行基準は、デバイス登録・編集「設定出力条件」によります。



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	通行記録									
2										Export:admin
3	日時	名前	ひらがな	番号	部門	エリア	デバイスMAC	デバイス名	キャプチャー	
194	2021-01-28 23:01:16	尾崎憲一		19670201	ダンボネット	TOKYO TWINPARKS	B198DCD21B6C 0833	DC506		
195	2021-01-28 23:01:19	尾崎憲一		19670201	ダンボネット	TOKYO TWINPARKS	B198DCD21B6C 0833	DC506		
196	2021-01-28 23:01:23	尾崎憲一		19670201	ダンボネット	TOKYO TWINPARKS	B198DCD21B6C 0833	DC506		

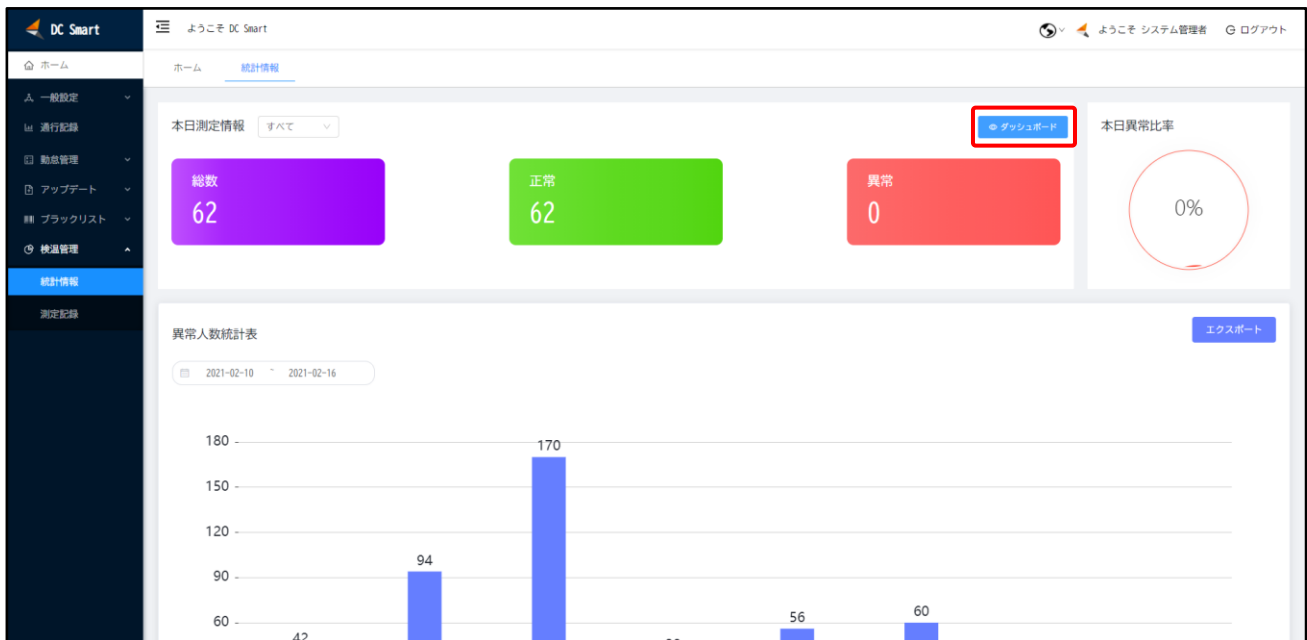
3.6 検温管理

DC デバイスで検温した結果を管理します。

※注意※: DC506 は検温機能を有効にしている場合のみ、検温管理にデータが記録されます。

3.6.1 統計情報

本日検温統計と毎日検温総数変化などを表示します。「ダッシュボード」をクリックし、看板モードに切り替えることで、リアルタイムにデータ更新を行います。







3.6.2 測定記録

DC デバイスで検温すると、その結果は測定記録としてサーバーに保存されます。測定日時、部門、測定結果などの条件で検索結果を絞り込むことができます。また、「エクスポート」ボタンをクリックすることで、Excel 形式にてエクスポートできます。



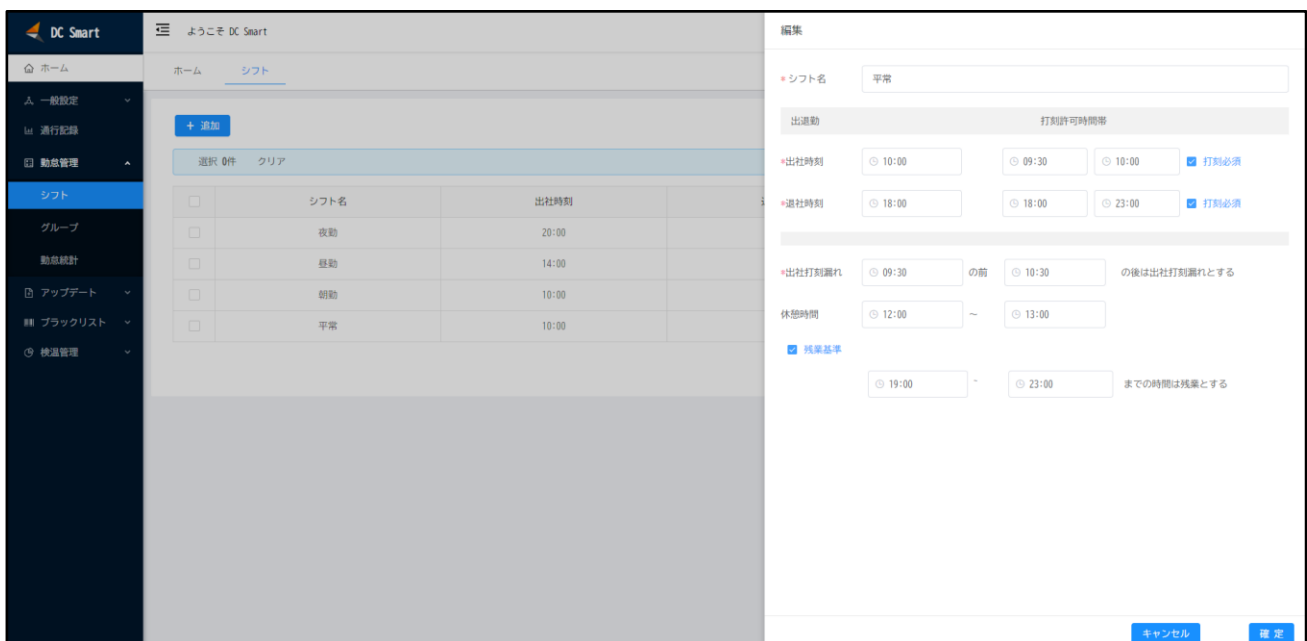
測定記録									
測定時間	氏名	ひらがな	番号	体温	部門名	エリア	デバイス番号	デバイス名	キャプチャー
2021-01-30 04:08:57	尾崎憲一		19670201	36.0°C	ダンボネット	CANALTOWER	8A:A3:6D:CD:68: A4	TYPE-Bテスト 機	
2021-01-30 04:08:54	尾崎憲一		19670201	35.9°C	ダンボネット	CANALTOWER	8A:A3:6D:CD:68: A4	TYPE-Bテスト 機	

4 勤怠管理

シフト、グループと休日を登録し、DC506 で顔認証した結果をベースに勤怠データを統計します。ユーザーは、顔認証した際に DC506 画面に自分の名前が表示されていることを必ず確認してください。顔認証に失敗した際には、名前が表示されず、勤怠情報にも登録されません。

4.1 シフト

シフトは毎日の打刻パターンを定義します。デフォルトは朝勤、昼勤、夜勤がありますので、ルールに合わせて修正します。各シフトについては打刻設定と残業設定が行えます。



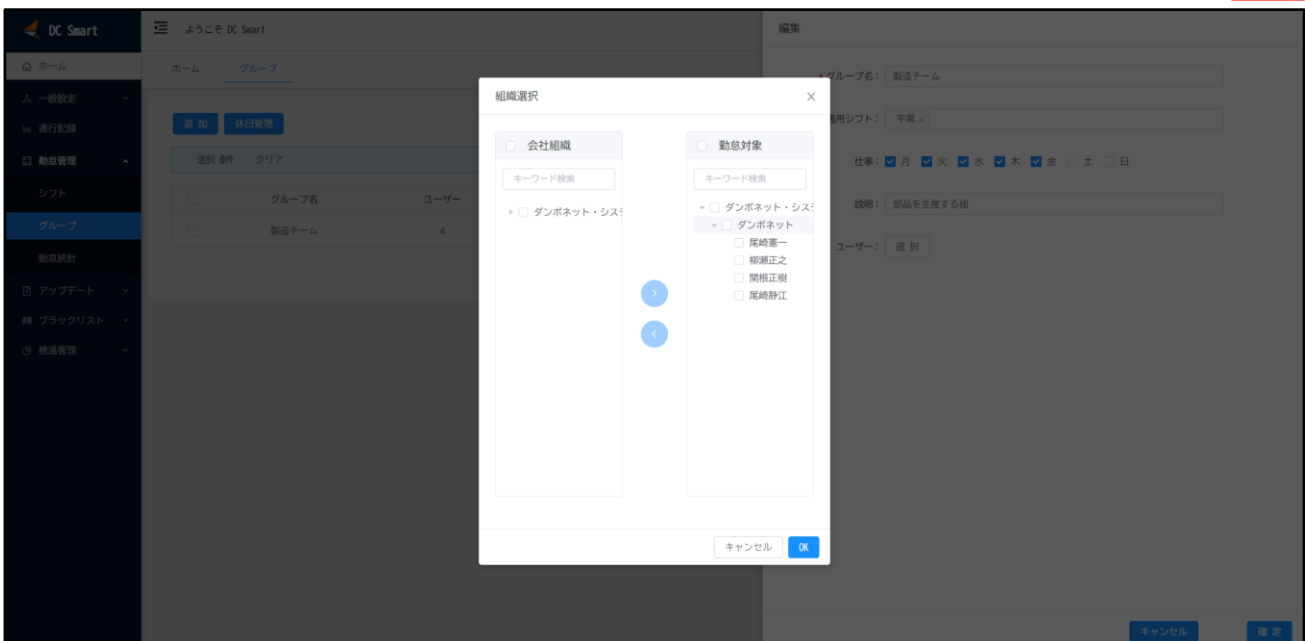
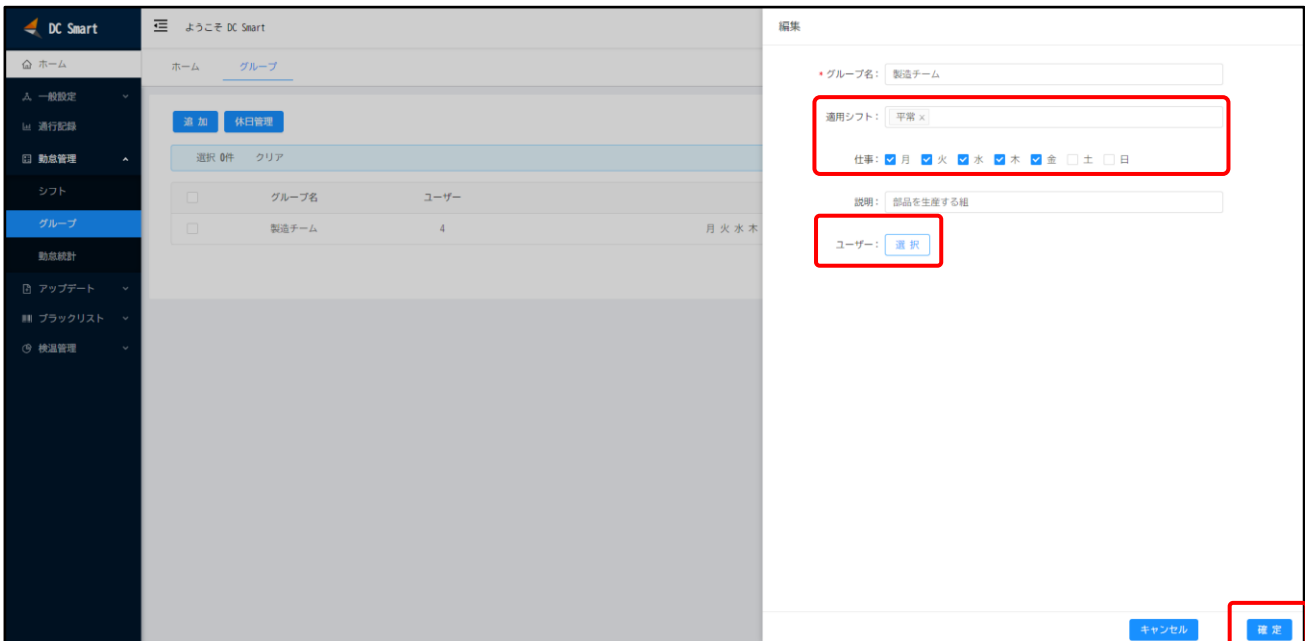
The screenshot shows the 'DC Smart' application interface. On the left, a navigation menu includes 'ホーム', '一般設定', '通行記録', '勤怠管理', 'シフト', 'グループ', '勤怠統計', 'アップデート', 'ブラックリスト', and '検温管理'. The 'シフト' (Shifts) section is active, displaying a table of existing shifts:

シフト名	出社時刻
夜勤	20:00
昼勤	14:00
朝勤	10:00
平常	10:00

The right panel, titled '編集' (Edit), shows configuration for the '平常' (Normal) shift. It includes fields for 'シフト名' (Shift Name), '出社時刻' (Start Time) with options for 10:00, 09:30, and 10:00, and '退社時刻' (End Time) with options for 18:00, 18:00, and 23:00. There are checkboxes for '打刻必須' (Clock-in required). Below, it shows '出社打刻遅れ' (Late clock-in) settings and '休憩時間' (Break time) set from 12:00 to 13:00. At the bottom, '残業基準' (Overtime criteria) is set from 19:00 to 23:00. Buttons for 'キャンセル' (Cancel) and '確定' (Confirm) are at the bottom right.

4.2 グループ

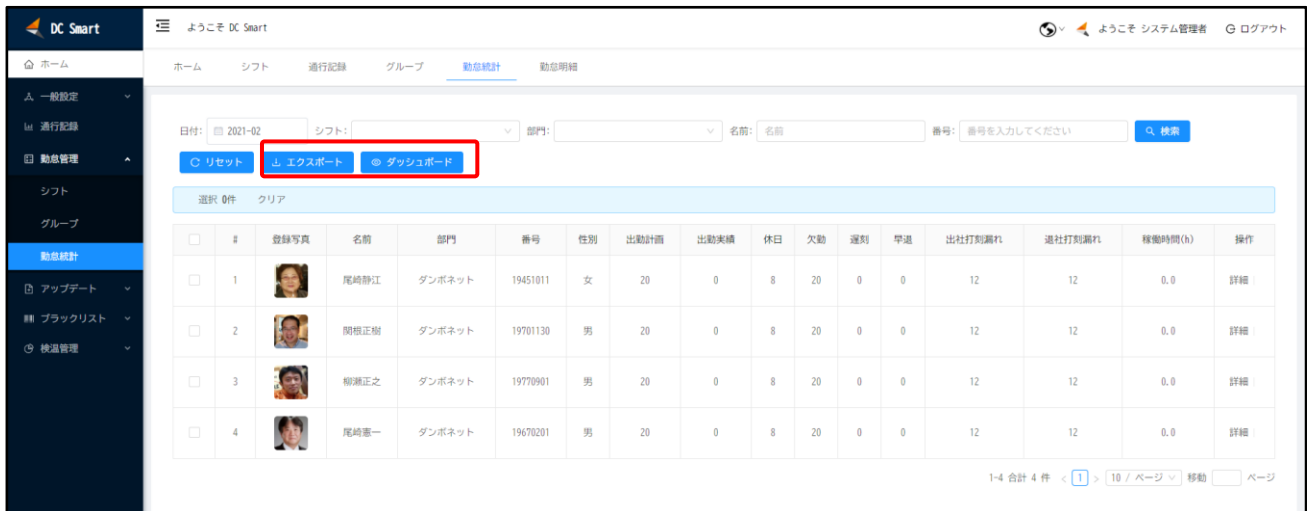
ユーザーをグループに分けて、出勤曜日パターンと打刻パターンに適用します。例えば、平日朝勤グループ、平日夜勤グループ、週末昼勤グループ、週末夜勤グループのように分けることができます。



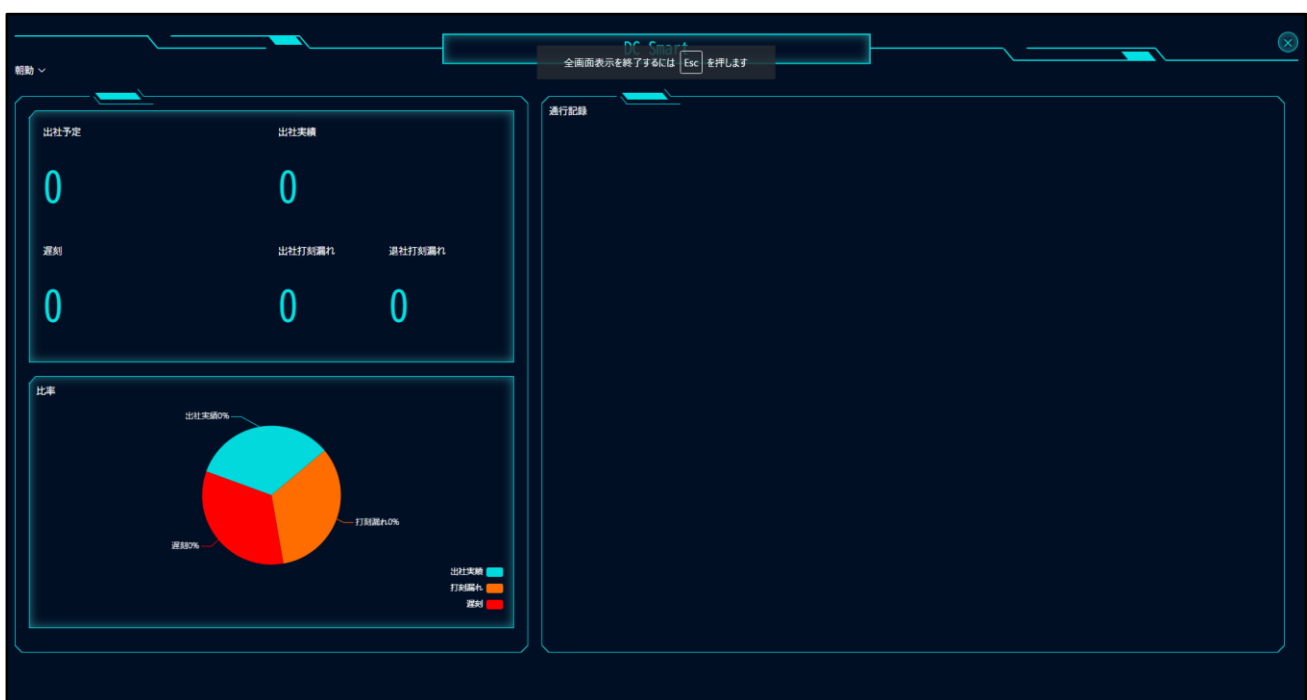
4.3 勤怠統計

ユーザーの毎月の勤怠統計情報を表示します。「エクスポート」ボタンをクリックすることで、Excel 形式にてデータをエクスポートできます。また、「ダッシュボード」ボタンで看板モー

ドに切り替え、打刻データをリアルタイムに表示させることも可能です。右側の「詳細」ボタンをクリックすることで、統計明細画面に移動できます。



No	年月	名前	番号	稼働時間 (h)	出勤計画	出勤実績	遅刻	早退	打刻漏れ合計	出社打刻漏れ	退社打刻漏れ	休日
1	2021-02	尾崎善一	19670201	0.0	19	0	0 (time) 0 (min)	0 (time) 0 (min)	22	11	11	9
2	2021-02	柳澤正之	19770901	0.0	19	0	0 (time) 0 (min)	0 (time) 0 (min)	22	11	11	9
3	2021-02	関根正樹	19701130	0.0	19	0	0 (time) 0 (min)	0 (time) 0 (min)	22	11	11	9
4	2021-02	尾崎静江	19451011	0.0	19	0	0 (time) 0 (min)	0 (time) 0 (min)	22	11	11	9



4.4 勤怠明細

対象ユーザーの当月の勤怠明細情報を表示します。「エクスポート」ボタンをクリックすることで、Excel 形式にてデータをエクスポートできます。「訂正」ボタンにて、打刻データの出社時刻と退社時刻を修正することができます。

DC Smart ようこそ DC Smart ようこそ 管理者 ログアウト

ホーム 勤怠明細 勤怠統計

< 出勤統計 / 勤務明細 _ 2021 年 02 月 _ 陈文超

陈文超 56
Operations department

↓ エクスポート

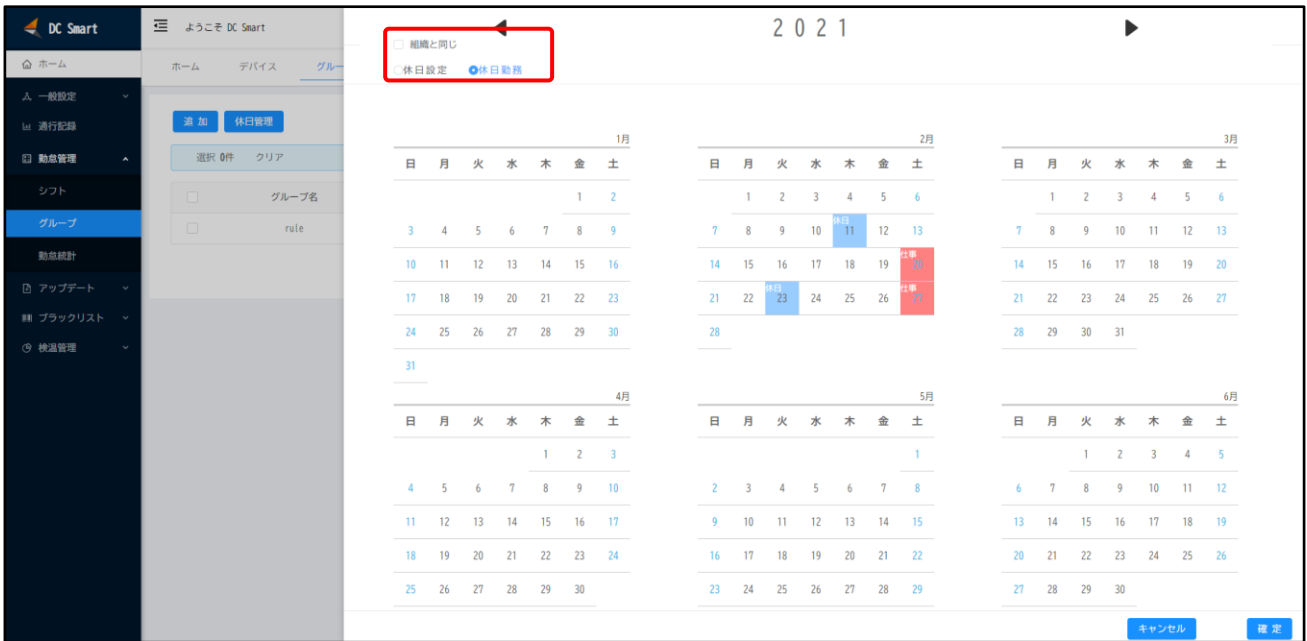
日付	曜日	シフト	出社時刻	退社時刻	稼働時間(h)	残業時間(h)	出社状態	退社状態	操作
2021-02-01	月	Shift	08:20:58	22:20:58	12.5	2.85	正常	正常	訂正
2021-02-02	火	Shift	09:40:58	21:40:58	10.5	2.18	遅刻	正常	訂正
2021-02-03	水	Shift	08:40:58	19:01:58	8.85	1.53	正常	正常	訂正
2021-02-04	木	Shift	09:01:58	21:43:41	11.2	2.22	遅刻 (訂正)	正常 (訂正)	訂正
2021-02-05	金	Shift	08:01:58	22:44:52	13.22	3.23	正常	正常 (訂正)	訂正
2021-02-07	日	Shift	08:01:58	21:01:58	13.0	13.0	休日	休日	訂正

勤怠統計 関根正樹 2021-02										
No	日付	曜日	分類	名前	番号	出社時刻	退社時刻	稼働時間(h)	出社状態	退社状態
1	2021-02-01	月	仕事	関根正樹	19701130				欠勤	欠勤
2	2021-02-02	火	仕事	関根正樹	19701130				欠勤	欠勤
3	2021-02-03	水	仕事	関根正樹	19701130				欠勤	欠勤
4	2021-02-04	木	仕事	関根正樹	19701130				欠勤	欠勤

4.5 休日管理

グループ画面において「組織と同じ」のチェックを外すと、休日設定と休日勤務設定ができます。

※注意※ 過去日付に対して設定をしても勤怠データには反映しません。



5 アップデート(DC506)

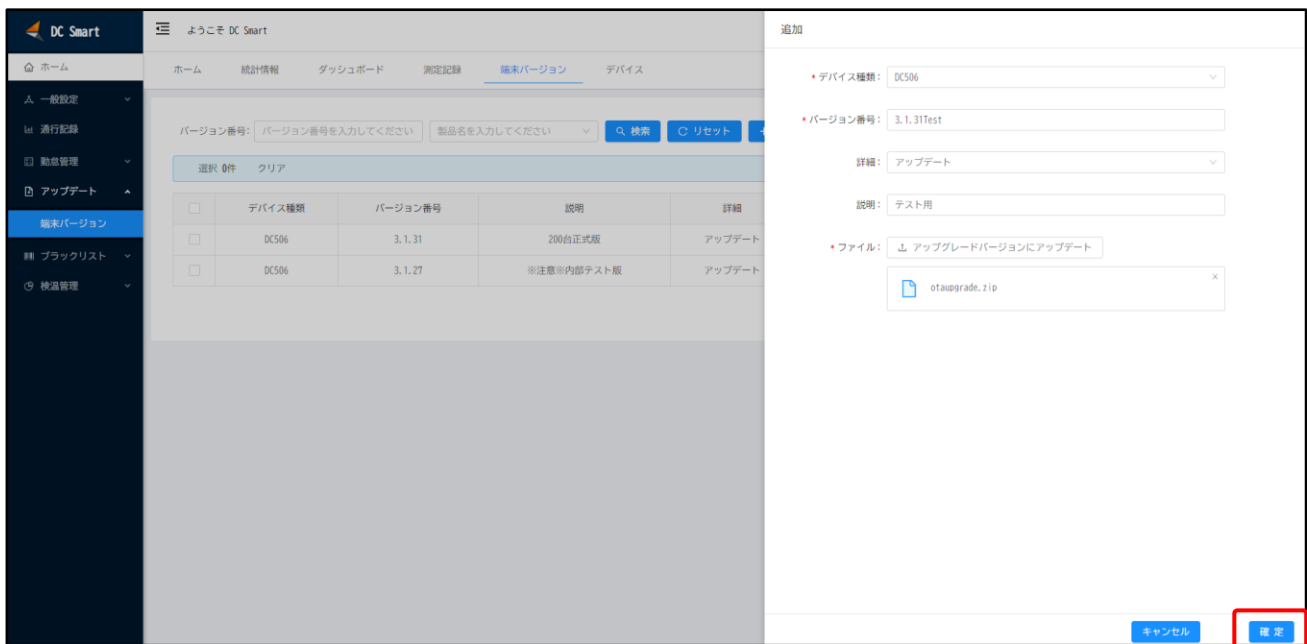
DC506 をインターネットに接続します。インターネットに安定して接続させるため、有線 LAN ケーブルによる接続を推奨します。

※参考※ DC77 は設定メニューからオンラインアップデートできます。

5.1 APK の準備

端末バージョン画面において、「追加」ボタンをクリックし、APK アップデート設定画面に必要な情報(バージョンは弊社提供したものに合わせる)を入力します。弊社から連携した APK ファイルをアップロードし、「確定」ボタンをクリックします。





5.2 アップデート

対象アップデート APK の右側にある「もっと → Linux アップデート」をクリックします。ポップアップ画面に表示されたアップデート対象の DC506 にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックするとアップデートが開始されます。

アップデート中は、DC506 の補正照明ライトが点滅します。アップデート完了後は、自動的に再起動されます。再起動後、DC506 の画面下に表示されている APK バージョンが最新版であることを確認します。

※アップデートの際は、Wi-Fi ではなく、有線 LAN によりインターネットに接続することを推奨します。



アップデート : 3.1.31Test

検索

検索	デバイス	バージョン	Face recognition system	インストール	システム	URL
<input type="checkbox"/>	686E04F98B20FB1A	DC506	V3.1.27	Face recognition system	ダンボネット・システムズ	CANAL TOWER
<input type="checkbox"/>	A110A854CE379B94	DC Device	V2.12.2	Face recognition system	ダンボネット・システムズ	CANAL TOWER
<input checked="" type="checkbox"/>	2F0C8A658615C02	DC Device	V2.12.2	Face recognition system	ダンボネット・システムズ	
<input type="checkbox"/>	26636814E0582225F	DC Device	V2.12.2	Face recognition system	ダンボネット・システムズ	
<input type="checkbox"/>	86ED9A2433425AEB	DC Device	V2.12.2	Face recognition system	ダンボネット・システムズ	
<input type="checkbox"/>	CE411F48C26C0396	DC Device	V3.1.4	Face recognition system	ダンボネット・システムズ	
<input type="checkbox"/>	ACAC443C02E3B452	DC Device	V2.12.2	Face recognition system	ダンボネット・システムズ	
<input type="checkbox"/>	F2AE02509B551FAC	DC Device	V2.12.2	Face recognition system	ダンボネット・システムズ	
<input type="checkbox"/>	2E7398320CA404AF	DC Device	V2.12.2	Face recognition system	ダンボネット・システムズ	
<input type="checkbox"/>	E66570B77A9C2CDE	DC Device	V2.12.2	Face recognition system	ダンボネット・システムズ	

閉じる